



食文化体験

# もちつき

対象	時期	人数	所要時間	活動場所	費用	指導員	関連動画
幼児～	通年	60人	2～2.5時間	ピロティ (※もちつき後「天竜」「クラフト室」等に移動して食べる)	材料： 600円/1人	必要 (5,000円/ 指導員1名)	—

## 概要

昔ながらのきねとうすを使って、それぞれの役割をこなしながら、新しい年を迎えるための準備としてのもちつきを体験してみましょう。

## 準備物

団体で用意するもの

- ・食材（売店で購入）
- ・スポンジ（食器洗い用・複数個）
- ・ふきん・クレンザー・マッチ・ぞうきん（1人1枚）
- ・食器用洗剤・ビニール手袋（1人1組）

自然の家で貸し出すもの

- ・うす
- ・きね
- ・バケツ ・ボウル ・バット ・お皿 ・はし
- ・おろし金 ・包丁 ・ブルーシート

## 活動例

★指導員の指示に従って活動してください。

- ① はじめのあいさつ（※研修指導員紹介や「お願いします」など）
- ② 道具・食材を準備する。研修指導員の指示のもと、利用団体が準備をする。食材は売店より購入。  
※臼、きね、手返し用のボウル、バケツなどセットする。  
※きなこあんこをそれぞれバットに入れておく。大根をバットにすり下ろしておく。
- ③ ふかしたもち米を売店でもらい、臼へ入れ、もちつき開始。
- ④ もちをつく。（利用者）手返しをする。（指導員）
- ⑤ つき上がり。つき上がったもちをボウルに取り、まるめる場所へ移動する。
- ⑥ まるめる・・・研修指導員がもちをちぎるので、ちぎったもちをまるめる。
- ⑦ あんこ、きなこ、大根おろしのバットにもちを入れ、あんこもち、きなこもち、大根おろしもちにする。
- ⑨ 道具・食器の片付け・・・洗い物（きね うす 皿 ボウル バケツ等）を分担して洗い、ふきんでよく水気を拭き取る。研修指導員の確認のもと、利用団体が倉庫へ道具を片付ける。
- ⑩ 活動場所の清掃。研修指導員の指示にしたがって清掃をお願いします。
- ⑪ おわりのあいさつ（※お礼の言葉や「終わりのあいさつ」など）

## 留意事項

- ・この活動は研修指導員を必要とします。事前に自然の家職員に相談してください。
- ・荒天時の代替えプログラムとしては、活動できません。また、夜の活動として行うことはできません。
- ・申込みは、10名以上でお願いします。
- ・もちをまるめる場所にブルーシートを敷いておきます。
- ・もち米は食堂でふかしたものを購入します。（※ふかしたもち米を受け取るボウルを持っていきましょう。）
- ・もちつき終了後、ピロティから食べる場所（天竜・クラフト室等）に移動して食べます。
- ・活動終了後は、道具を元の場所にきちんと戻しましょう。使用した場所の掃除もお願いします。
- ・冬場は、水が冷たいのでビニール手袋をして洗い物をします。